

## デジタル絵本の今

0714306 花枝 朝美

### 1. デジタル絵本とは

デジタル絵本とは、デジタルな環境で読むことの出来る絵本のことである。DVD-ROM から起動して読むタイプのパッケージ型、インターネットブラウザ上で読むことのできるオンライン型、サイトからダウンロードして携帯機器やパソコンにインストールして読むアプリケーション型 (図) などがある。

項目	長所	短所
表現の多様性	アニメーションさせたり、音声を入れたりと多方向から表現できる点。	多様に表現ができることで、子どもの想像力を培えないかもしれないと不安に思う人もいる点。
音声	発音が分かる。視覚障害者にも優しい。	自分のペースで読むことができない
インタラクティブ性	遊びやゲームを取り入れた学習教材として適している。	物語に入りきれない、集中できないこともある点。
共用性		インタラクティブなものは、ひとりの子どもが専有して、みんなで楽しむのが難しい。
使用感	紙の本と違い、重さや大きさが一定で安定している。	紙の本特有の質感が楽しめない 反応速度が遅いものがある



項目	長所	短所
入手のしやすさ	ダウンロード型のもは24時間いつでもネット環境があれば購入可能	ダウンロード型のは会社がつぶれてしまうと購入できなくなってしまい、中古がでまわることもないため、入手が困難になってしまうこともある
健康への影響		内側から発光しているため、目が疲れる
保管のしやすさ	部屋のスペースをとらない。媒体ひとつあれば手軽に持ち運び可能	バックアップをとらないとデータが消滅する可能性がある

### 2. 調査

#### (1) 保育園での調査

5歳の幼児3人グループ3組を15分ずつiPad2で遊ばせる。1組に1人先生がつくが、幼児の使用方法に干渉はしない。

#### (3) 一般家庭での調査

4人家族の2歳の長男と45分の間iPad2の絵本アプリで一緒に遊ぶ。幼児の使用方法について干渉する。



### 3. 調査結果

興味を持った機能	タップ、カメラ
興味を持った絵本	図鑑系
デジタル絵本の長所	デジタルならではの機能があること
デジタル絵本の短所	使いにくい、飽きる
紙の絵本のほうがよいと思う点	読み聞かせに向いている、壊れにくい

#### (1) 幼児はおもちゃ・ゲームとしての iPad に興味

「タップすると動く」「絵が動く」「ページがめくれる」などの機能の興味があったようである。したがって興味を持った本は、あいうえおの絵本や図鑑などで、お話の本ではなかった。

#### (2) 興味がながつづきしない

本の中身に入り込まない（特に 2-3 歳児）傾向があった。

デジタル絵本アプリよりもまず、iPad 自体の目新しさや性能に、子どもたちの興味を持っていかれてしまったと思われる。保護者からは幼児が早くからこういった電子機器に触れることに懐疑的な意見もあがった。

### 4. 考察

デジタル絵本の存在を広め認めてもらうには、まず、その存在や良さを広める保護者たちの口コミやレビューが必要不可欠である。

絵本を読む年齢の子どもたちが電子機器にそこまで触れていないというのが現状である。まず子どもたちは、デジタル絵本アプリに触る前に、そのアプリの媒体の使用方法をマスターする必要がある。

紙の絵本には紙の絵本ならではの長所も短所もあるし、デジタル絵本にも同じことが言える。現段階で、デジタル絵本が紙の絵本に取って代わることはできないだろう。